

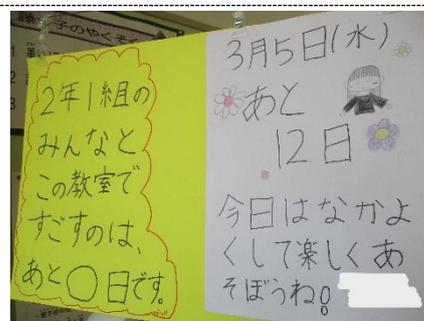
2年

3月に入り、もう少しで3年生です。進級や初めてのクラス替えに「ドキドキする」「今のクラスの友達と別々になることが寂しい」という声が聞こえてきます。

残りの1か月間、学級としてどんなことができるようになりたいかを考え、カウントダウンカレンダーをつくりました。毎日、カレンダーに書いたその日の目当てを達成しようと意識しながら生活する様子が見られます。

先日、教室を移動する際に、出しっぱなしになっている椅子に気付き、率先して整頓している子供がいました。「どうして友達の分まで進んで整理整頓をしていたの？」と聞いてみると「今日の目当ては、みんなで協力することだから」と答えました。その子供は、2学期の振り返り作文に、「友達と関わるときに、自分の思いばかりを通そうとしてけんかになってしまうことがよくあった」と書いていました。よりよい自分に近付こうと目当てをもって毎日頑張る姿に成長を感じました。

4月と比べて一人一人の子供たちが、体も心も大きく成長したように思います。子供たちの頑張りをご家庭の協力があったからこそだと思います。残りの1ヶ月間の中で、子供たちが思い描く理想の3年生になることができるように、担任一同全力で支えていきます。



3年

3学期も残り1か月弱となりました。卒業お祝い週間が始まり、学年の子供たちは、この1年間を振り返りながら6年生に感謝の気持ちをもって過ごしています。

休み時間になると、あるダンスの動画を何度も見返している3人組がいました。このダンスは、「6年生を送る会」で3年生が披露するダンスでした。「どうして何回も見返しているの？」と聞いてみると、「6年生にダンスを教えるところがあるから、しっかり踊りたい」と答えてくれました。それから子供たちは、6年生と一緒に踊るところを何度も確認し、「手はしっかり伸ばそう」、「動きをしっかり揃えたいね」と声をかけ合いながら練習をしていました。練習後、「最初は不安だったけれど、大丈夫そうだね」と笑顔で話をしていました。



この3人の内の1人は、6年生の目の前でダンスを披露する担当ではありませんでした。「友達が不安そうだから、一緒にやってあげたい」と話し、練習をしていました。友達のために、6年生のためにと相手のことを考えて行動したり、関わり合ったりすることで、優しさや感謝が広がっていくと感じた場面でした。1年間の終わりを子供たちが気持ちよく迎えられるように支えていきます。

6年

卒業まで、残りわずかとなりました。子供たちはこれまでたくさんのことに挑戦し、最高学年とし、学校を支えてきました。

3学期には、「在校生や教職員、地域の方への感謝の思いを伝えたい」、「自分たちの取組を全校に伝え、残したい」「最後に学年や全校の児童との絆を深めたい」という子供たちの思いから、卒業プロジェクトとして、様々な活動に取り組みました。

その中で、各学年に向けての感謝を伝える動画をつくりました。自分たちの思いが伝わるよう、何度もせりふを確認して撮り直したり、分かりやすくなるよう編集をしたりするなど工夫しました。完成までに時間がかかりましたが、どの子供も在校生へ感謝の思いを伝えたいという一心で、最後まで取り組みました。でき上がったときには、グループの友達とうれしそうに話しており、達成感を得た様子が見られました。



また、卒業プロジェクトの活動以外にも、マイタイムの時間に、「お世話になった校舎をきれいにしたい」との思いで、進んで清掃に取り組みんだり、挨拶運動に参加し、全校のみんなに挨拶したりするなど、自分ができることを見付けて活動しています。

子供たちが自信をもって卒業できるよう、残りの期間も支えていきたいと思っています。